

そ  
10  
19

6-4  
2-1

栗氏千虫譜 10冊 寄別6-4-2-1 08-001

国立国会図書館







八



栗氏千虫譜 10冊 寄別6-4-2-1 08-002

国立国会図書館







海馬

琉球産  
奇品

リウグウノコマ  
タツノオトシゴ

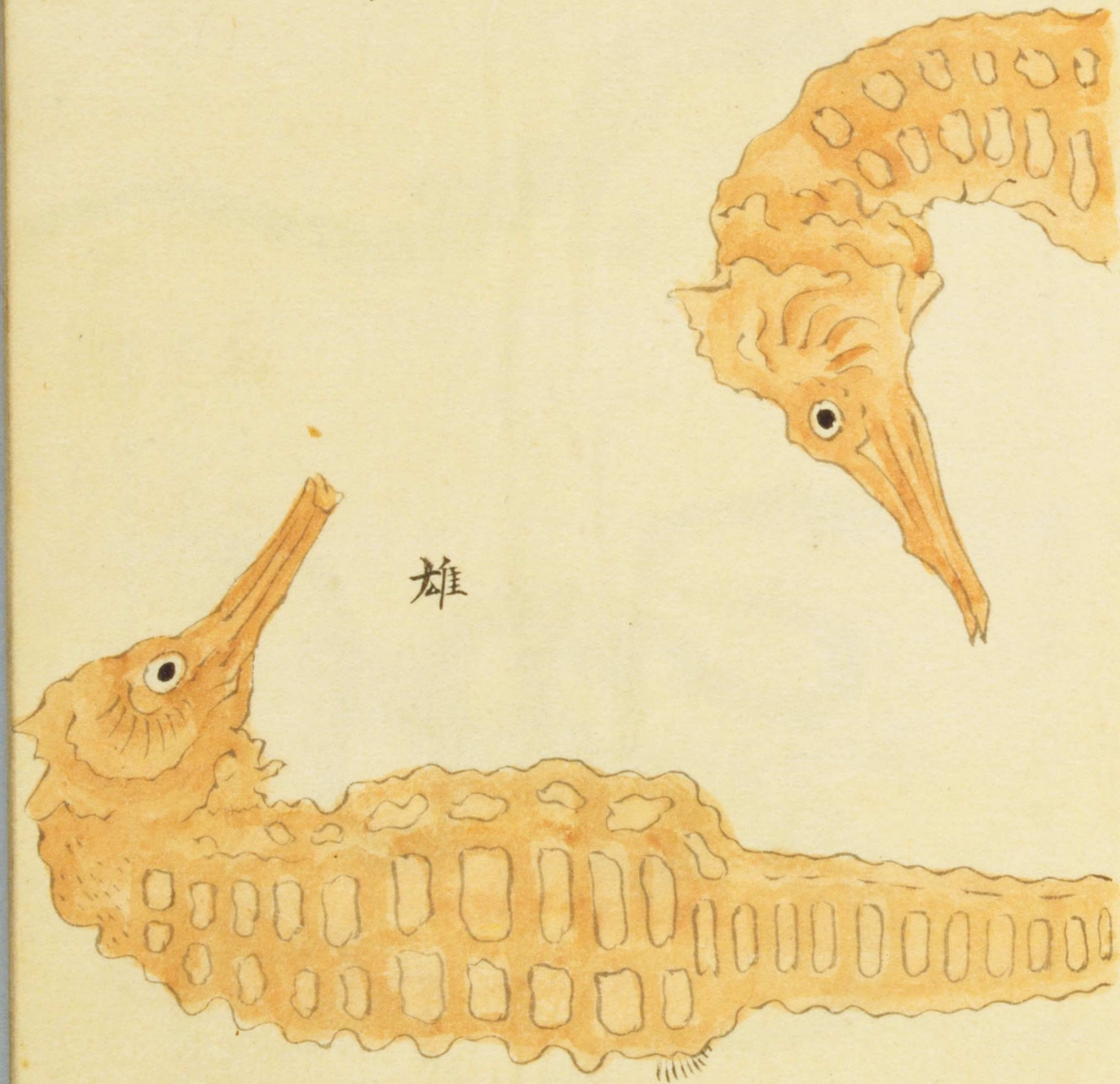
雌



其臺灣府志所載ノ海龍ナリ其書曰海龍産  
澎湖澳冬日雙躍海灘漁人獲之號為珍物首  
尾似龍無牙爪長不徑尺以之入藥功倍海馬孫  
元衡有詩云澎湖漁人乞我歌海竜雙躍出盤  
渦爪牙未具空鱗鬣直似枯魚泣過河



雄







寛政中尾張彈正殿  
家藏畜也小子借來  
而寫之畢



菅根湖水中ノ産其軀枯スルモノ雌雄一對トシテ藥肆ニテ  
賣ルモノコレ也雖ナルモノ腹大ニノ黄子アリ小兒五疳ニ酒ニ浸シ焙リ  
香クシテ用ユ又勞咳ニ用テ其功蛤蚧ニ不劣ト云



サシヤウ魚

物理小識ノ黒魚ナリ越後俗ニ千貫ムシト云其腹下紫赤色因テ赤ハラト云  
活スルモノ人ノ見ルコトナキモノナリ行ク遅シ清泉ニ生ス蟻蝮ノ死水ニ住ト異ナリ







右ニ同シ山椒ウオト山上ウオナリト云  
 此モノ腹赤シ故ニ赤ハラト云又千貫虫ト  
 云魚類ニ非ス水蛭ノ類ナリ



此肥大黒色ノモノ羽州秋田郡香山寺山ノ清水中ノ産トナリウラ以テ先葺蛤蚧ニ克ルモノ  
 疑ハ是ナルベシ蛤蚧和産ナシ



信州木曾山溪ニ産スル者  
 形大色黒







蝾螈 一種全體純赤者所稀得  
 但于萬中一二而已化三丙寅年  
 三月十五日親觀而為奇品姑圖似  
 同好君子尔

赤者背上赤赭色  
 腹下丹朱鮮紅可  
 愛形比于尋常者  
 則稍小也







胡  
爲  
虺  
蜴



栗氏千虫譜 10冊 寄別6-4-2-1 08-007

国立国会図書館





厄日多國產

ステンシイマローニ

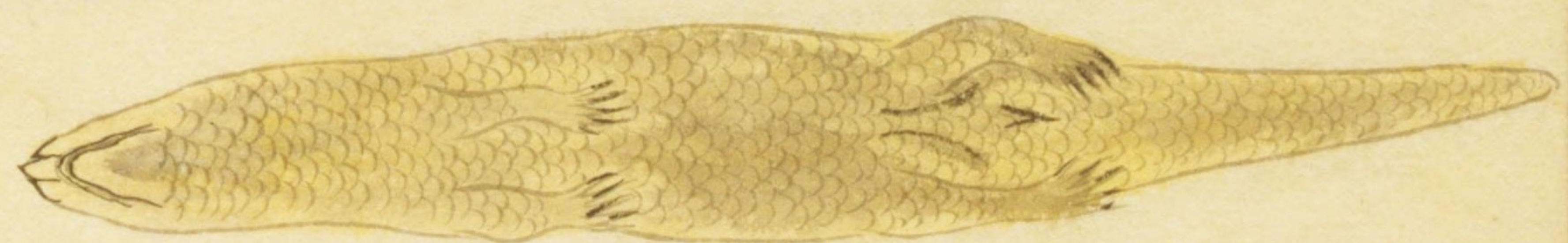
寶曆初年蠻船載来  
其穴形乾腊者

四脚アルキスト云テ船来  
スト聞ケリ然レ魚類ニ非  
ス

側面



仰面



右ニ図スル所ノモノ厄日多國謁粹葛河水中ノ産ナリ其國南天空ノ西ニアリ常ニ雲氣ナ  
ク雨フルヲ稀ナル熱國ナリ其國中三大河アリ謁粹葛ト云一名ハ泥緑ノ河ト云是即亞弗里  
加中ノ大河ニ至ルニ至レハ七十餘派ニ分レ流下スト云其水源ヲ極ルモノナシ川幅モ幾里ナルヲ  
不知ト云傳フ此國民此河水ヲ汲トリテ生活ス每歲五月ニ洪水出ルアリ土人其水漲ルコト多  
寡ヲ見テ歲ノ豊歉ヲ知ルト云此河水中ニ此物多シ土人捕食フ大ニ人ヲ補益スト云宝曆中蠻  
船將来スルモノ瑠浦譯官名村三太夫ナル者藍水田卯氏ニ贈ル遍身細鱗兒仔飯ニ似タリ  
但短キ四脚アルヲ異トスルニ其鱗極テ緻密ニテ光澤アリ手ニテ撫レハ甚滑ニ捕ヘカテ其体固  
ニノ腰ノ處微ニ屈ナリ頭尖リ眼小ナリ熟按スルニ水蛭ノ異品ナルベシ







草鞋虫 フナムシ

浪打際ノ石垣ノ間ニ生ス  
人ヲ見レハ疾走テ石罅ニ竄  
ル捕ヘカクシ脚左右十四本ヲ  
リ肚ヨリミレハ脚ハカリニテ肉  
ナシ鼠婦ニ異ナラスヒゲ長ク  
ヨク揺カスモノ也赤トシホニ化スル  
ト云ハ詳ナラス  
按鎮江府志云鼠一名蒲  
鞭虫ト此又鼠婦虫ノ属也

筑後柳川産  
海光虫  
祖海水中ニ生





ワレカラ 尾州ノ産其地ノ方言也  
 是一種ノ水蟲ニテ海菜或ハ雜肴ノ  
 中ニ交リエル者ナリ一寸或ハ寸半許  
 アリニ寸ニ至ルモノモマ、アリ色青シ  
 タマ、黄ハミタルモアリ只乾タル海苔  
 ニ交リアルハ色モ形モ弁別シガタシ因  
 テワレカラクハズ土人モナシト云ヘル能  
 登ノ國ノ常諺ナルヨシ輪池先生別  
 ニ詳説アリ見ベシ紀伊ノ國ニテ云ワレカ  
 ラハ藻中ニヌム小貝ナリコレモ一説ナリ  
 然レハ藻ニ棲虫ノワレカラト古歌ニヨ  
 ミタル虫ノ説穩當ナリトスベシ此図ハ  
 尾張ノ人植村忠左衛門有信ナルモノ  
 屋代氏ハ寫贈ル處ノモノ也ト



ワレカラ

此物海中藻ニヌム小虫ナリ形水虱ニ  
 似タリ又小蝦ニモ似タリ足多シ水離レ  
 テ稍跳ルモノナリマヤ幼時實父蓋水翁  
 自抄寫セル佐州採葉録ニアル図ヲ以テ  
 コニ載出スルモノナリ



蠲

ホタルムシ 五六月池沼泥中ニ生ス形扁ニシ  
 黒色小刺アリ昼ハ眠リ不動夜蠶々トノ行尾下光リ  
 マリ螢火ト異ナラス本綱弘景云是腐草及爛竹根  
 化初時如蛹腹下色有光數日更而能飛ト云モノ是  
 ナリ時珍云一種長蛆尾後有光無翼不飛一名蠲  
 俗螢蛆明堂月令所謂腐中化爲蠲者也云



今親ク見ル蛆ノ如ク又行  
 時ハ蛭ノ如シ鎮江府志云  
 謂一種水蛭居水中即是





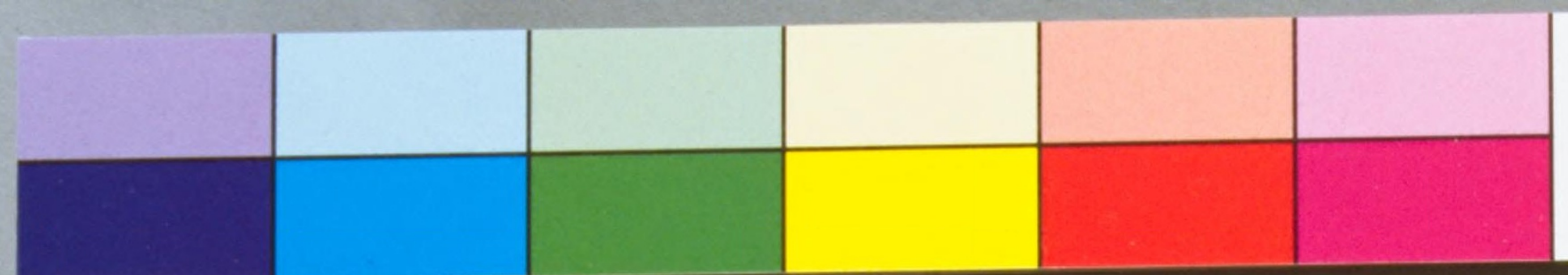
ワレカラ 貝原公羽ノ説小貝ニノ虫融ニ非ストス  
 コレハ其土地漁人ナドノ方言ニテワレカラト云ニヨレル身  
 因テ其物國々ニテ違アリコニ因ルハ筑紫ニテ称  
 スル慶ノワレカラナルベシ  
 大和本草ニ云ワレカラ古歌ニヨメルハ藻ニ住ム虫融  
 ナリ又本草約言ニ云紫菜其中ニ有小螺螄今  
 按ニ此類ワレカラナルベシ藻ニツキテ売ノ  
 一片ナル螺アリ分売ノ意ナルヘシスケナキ  
 ヌヘナリ コレヨメガサノ 又云ワレカラ海中ノ  
 藻ニスル小貝ナリ右哥ニ読メリ色  
 淡黒大サ三四分ニ不過其壳ワレ  
 ヤスシ形ミツガイ并ガイナトニ似タリ  
 至テ小ナリ此藻ハナゴヤト云淡青  
 色乾テハ紫色ナリ日ニ晒セハ或ハ  
 白色トナル可食性ヨロシカラズ或ハ  
 松藻ニモ此貝アリ 松藻ハ長ク  
 ノ莖モ大ナリ  
 コレモ一説カラスカイノ小ナルモノヲ  
 指テ云閩書烏糍ト云漳州府  
 志ノ烏粘ナリ



フナムシ 草鞋虫ノ一種ナリ脚  
 左右四アリ赤卒ニ化スト云ハ非  
 ナリ甲ハカリニテ肉ナシ人ヲ  
 見レハ疾走テ石罅ニ竄ル







丸藥ムシ

湿地ニ生ス鼠婦ノ種ナリ人手ニテ觸レハ丸ク合ヒ目モナキカ如シ堅ク丸ク丸藥ノ如シ

堅ク丸藥ノ如シ  
因テ名ツク又潮ノ  
サス池中ニモアリ  
小エビニ交ルモノワレ  
カラト云フ



水蚤 和名トビムシ蚤ノ如ク

跳ル下湿地ニ生ス夜光リ  
アリテ螢火ノ如シ又水中ニ  
モ生ス糠蝦ニ交生ス又鹹  
水ニモ生ス海苔ニツク大小色アハ違ハレ  
形状ハ一様アリ



トビムシ

水蚤ニ種ナル者



鹹水池塘中ニ産ス全身淺茶褐色ニ背透徹  
ス尾ハ五ビノ如ク狭ク重ク形小ナル者ハ色黒シ  
此モノ三月上旬繪残魚ノ内ニ交ラアリ低菜ナドニ  
付テ小虫ニメ生活スルモノ麿器ノ内ニ水ヲ盛テ其中  
ニ入レハ走ルテハヤシワレカラノ如クニメ大ナルモノハ

白頸蚯蚓 和名カブラミズト呼ブ

和名抄ニ此名見ヘタリミズ加州ミラメミズト云  
此物眼ヲ見ルナシト云テヨリ此名アリト云フ  
今白頸ノモノヲ撰ニ  
甜キヲ以テ鰻ヲ釣ルニ此  
モノヲ用エルトアリ今蜂蟻燂  
腫其痛不可忍モノニ砂糖ヲ和  
ヘテ以テ板上ニテ打スルモノヲ  
痛忽ニ消解ス轉活メ代指  
盛ノモノニ塗テ  
處ニ非ス蜂蟻際ラズ允ソ諸毒虫蟻ニ傳塗ヘシ凡テ  
熱毒ヲ解スルノ切アリ本州ニ丹毒漆瘡等ニ此泥ヲ擦  
スルヲアリ



五六月際向暑西三日續キ夜中土上ニ

出テ朝土ニハラス日乾メ壓扁ノ堅硬  
スルモノ多シ本州附方ニ藥用ニ供スル  
ヲ乾ス地龜蟠如錢様者ヲ用エル  
良トス嬰童百問ニ錢子地能  
乾ト云コニ因スルモノコレ  
ナリ小暑六月廿四  
五日ノ間ニ此モノアリ  
本綱所謂千人  
踏也







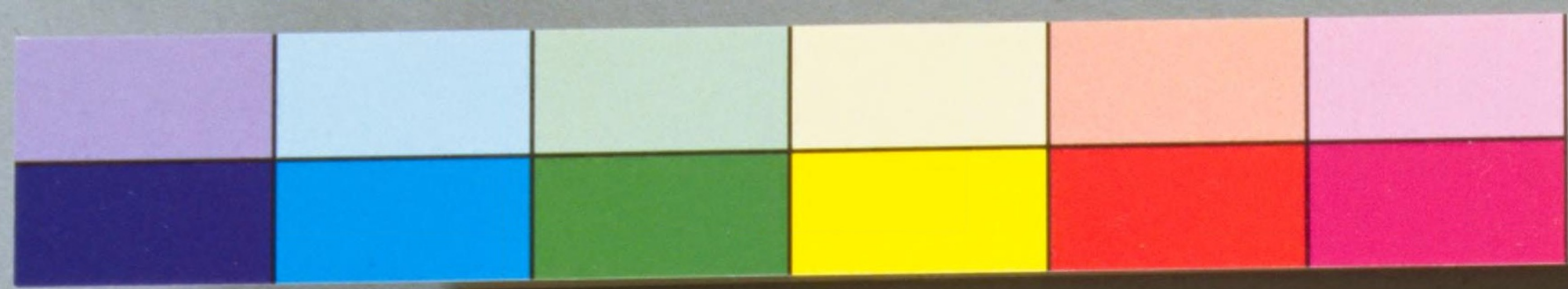
蝦夷産其背上有毛此  
奇品也  
同僚松江長伯所親看



文政二年卯土月二日朝随觀  
写之是雌雄交媾者也







蛞蝓 ナメクジ

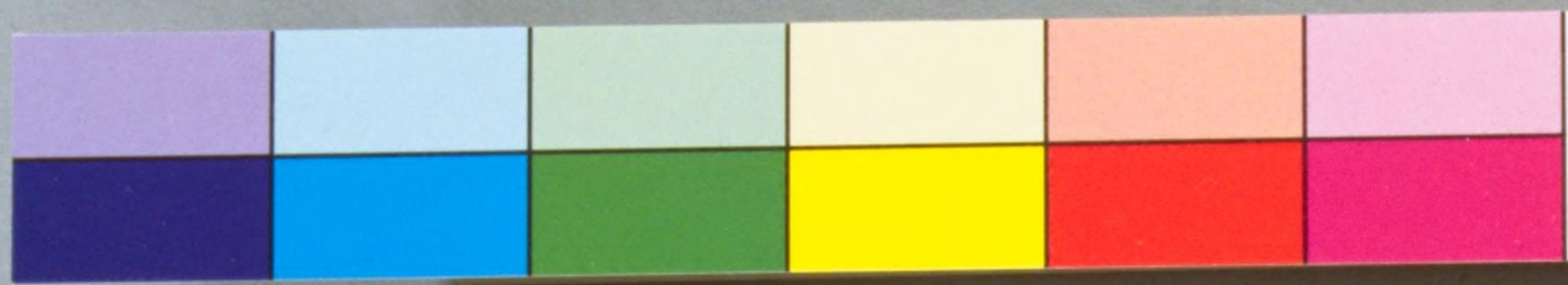


縁桑蠶一種  
キセルガイ蝸牛ノ一種也喜テ芭蕉ノ枯幹ノ間ニツクモテリ  
信州戸隠山ニハ長サ五分ヨリ一寸ニイタルモノアリ

蛞蝓  
安永八年十月山中ノ人姜醋ヲ  
以テ浸シ食フト云フ山ナヲ云フ







蛞蝓 一種大者  
 大宮八幡林中陰地ニテ  
 獲之尋常ノモノト別  
 ナリ



蝸牛

カタツムリ  
 テムシ  
 マイムシ  
 カイロウ

今俗云マイムシツグロ殼扁ニテ内淡黒殼ニ  
 紫黒ノ條アリテマクモノハ雄ナリ殼大因テ  
 赤色ヲ帯モハ雌ナリコレニ塩一撮ヲ入涎  
 ラ吐セシメ肉ヲ出シ串ニ貫キ炙食ハル兒  
 五疳虫積羸瘦ヲ治ス





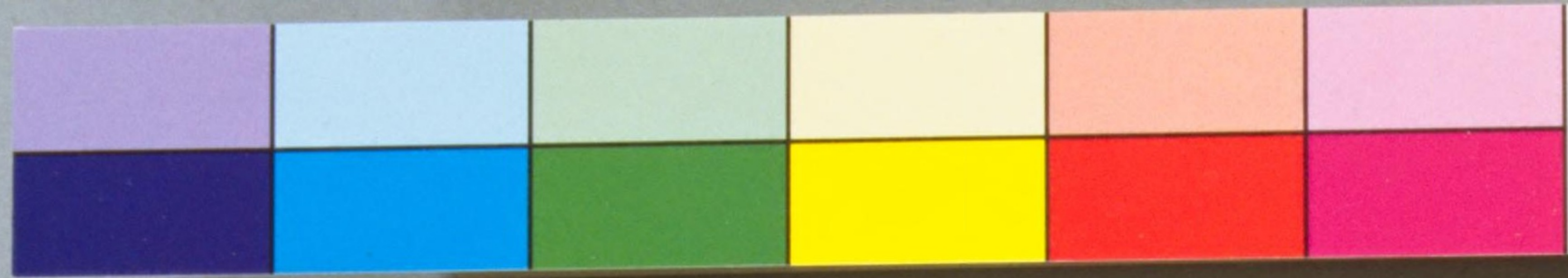


水蛭 木ヒル 山ヒルト云信州木曾山中

伊豆ノ天城山等ニ多シ旅人ノ足音ヲ聞テ  
喬木ノ巖頂ヨリ落テ雨ノコトシ人襟及モ、  
引ノ内ハテ不覺痒ヲ搔キ始テ血ヲ吸ル、  
コトヲ知ルモ密敷ニ咬入シハ取去ル所出血不止  
其毒遂ニ瘡ヲナス可畏モノ也其毒ヲ被  
ルモノ辰砂竜麝ノ入タル丹藥ヲ傳レハ立處  
ニ痒痛腫焮愈ルモノ也藍漆ノ布并烟草  
ノヤニ其毒ヲ解ス此物水産ノ者ヨリ形  
小ニテ図ノ如シ







水蛭 血ヲ吸モノ形  
フクレ丸ニ因ノ如シ



一種 赤褐色



水蛭

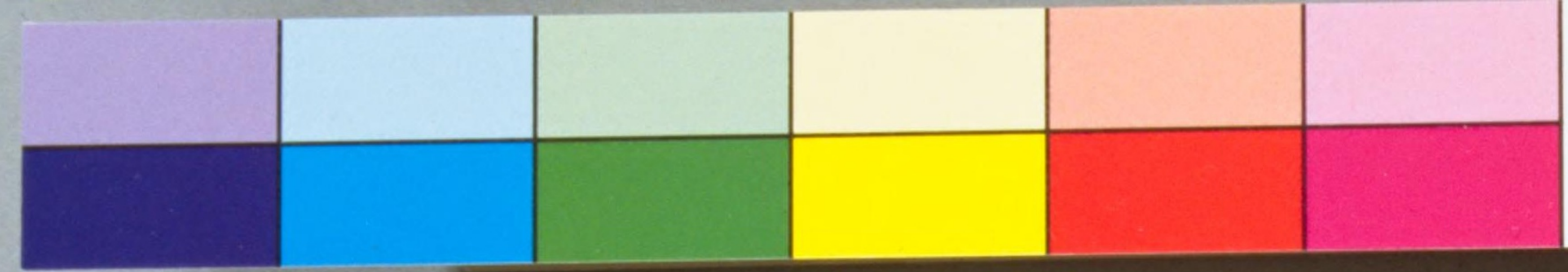


度古一名土蠱

コウカヒビル  
ツラスハリ  
スハタ  
肥加遠  
後賀江







伏翼  
 即蝙蝠山カフモリ  
 耳大ニメ遍身赤  
 褐色ナリ



右ニ図スルモノハ野州宇都ノ宮山中ヨリ  
 産スルウサギガシラナリ是一種ノ山蝙蝠  
 ナリ兩耳殊ニ長ク兔ノ如シ裡ノ  
 方ニ薄皮別ニ生ス此圖ヲ見  
 テ知ルヘシ奥州白川ニモ産  
 スルヨシ乾脂ノモノヲ往年見  
 タリ東都ニ絶テナキモノ  
 ナリ



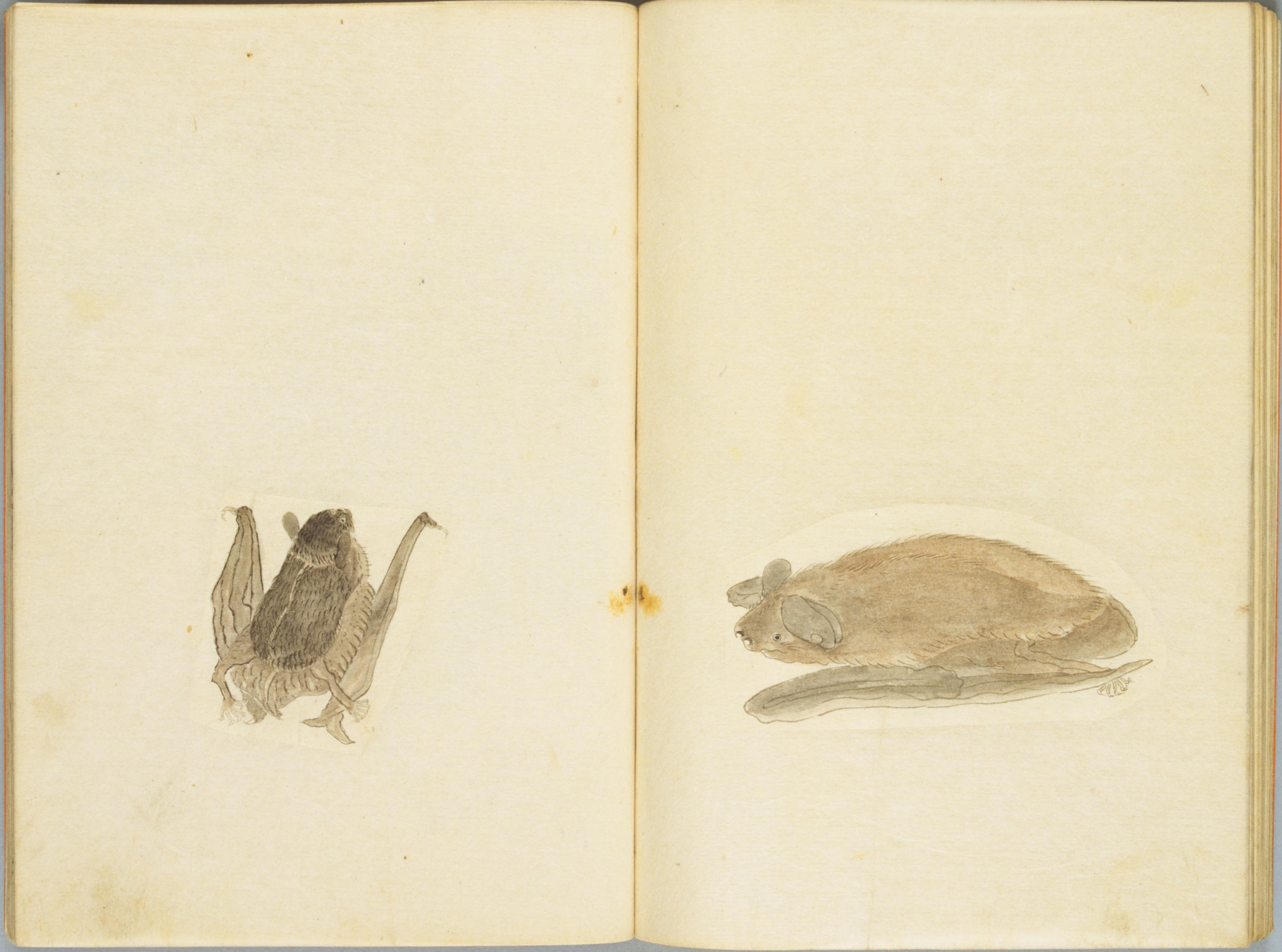




コニ圖スルモノ山カウモリニメ  
 七色赤福ヨリ野丹宇都宮  
 四ニ此類ニ奇呂菽種アリ牡丹  
 頭アリ鼻上芝アリ八重牡丹花  
 ニ似タリ菊花頭ト云ハ千里菜  
 花状ヲ如シ又兔カウモリハ耳  
 長クウガキノ耳ニ似タリ東都  
 ニ絶テナキ処ナリ何レモ山蝙蝠  
 シテ徑年老大クモノ翼ヲ振ル  
 時ハ二尺ニ近シ夜陰飛行スル  
 鳥々鳥ノ如シ多ク鐘乳ヲ産スル  
 洞中ニ倒懸テ炬火ヲ燃照スレハ  
 飛驚ス翼ヲ振フ音オソク  
 シト云又百々中偶白毛ナルモノ  
 アリ千歳ヲ經ル瑞物ト云然ラ  
 ス今雀ホウシロニ純白アルガ如シ







栗氏千虫譜 10冊 寄別6-4-2-1 08-020

国立国会図書館







寒蹄虫  
ヤエヤマコウモリ







寒蟬蟲

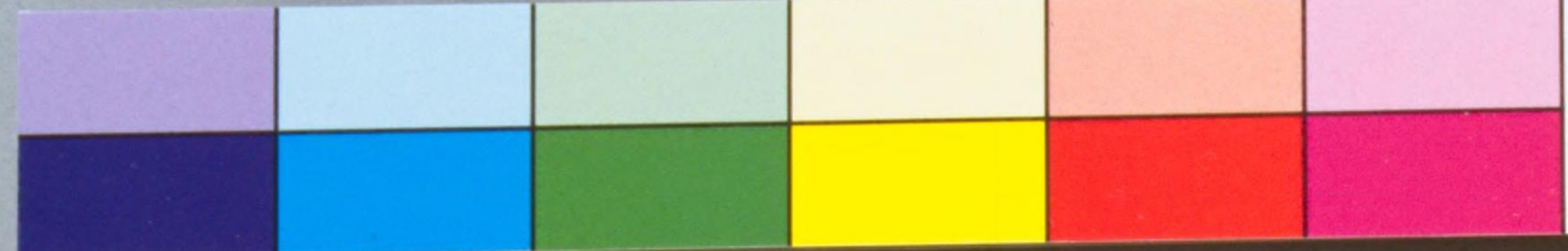
本綱原禽類ニ收ムル實ハ禽ニ非ス又獸ニ非ス冬月伏蟄メ蟲ノ類ニ似タリ因テ  
出ノ字ヲ得タリ格致鏡源号寒虫ノ名アリ虫名アルニ因テ此帖中ニ併入別ニ拙考ナリ  
蝙蝠一種状能似テ稍大ナリ性常ニ倒懸ス甚寒威ヲ怖ル肉翅アリテ身ヲ卷蔽ヒテ寒ヲ禦ク  
備トス四足アリ其前足肉翅ノ半ニアリ左右各一指々端一爪アリ鉄鉤ノ如ク鷹爪ニ似タリ  
小竹ヲ以テ鬚鳥シ挑メバ其鉤ヲ伸シテ爭拒ク其状態獨リ吞クモク如シ暖地ノ岩窟ニ隱棲夜ハ  
出テ飛行シテ食ヲ求ム嚴冬伏蟄ス倒掛ノ動カズ此時毛落テ裸躰ニ異ナラズ寒ト飢ニ堪ヘス號  
叫シテ止ズ自ラ其遺尿ヲ啖フ遺メ後ニ復啖フ故ニ其矢一所ニ集リ粘塊糖杖ノ如シ琉球屬鳴  
八重山ニ産ス中山ノ西南海中ニアリ俗ニ八重山コウモリト云フ昌威謹ニテ按スルニ本綱蝙蝠ノ次条ニ  
載スル所ノ寒號虫ナルヘシ此矢即五靈脂ナリ舶來モノ普通藥用ニ供ス此物四足有肉翅不能  
遠飛一名鷓鴣又名倒懸又名獨眷トアリ此名考証トスルニ足レリ

海鼠

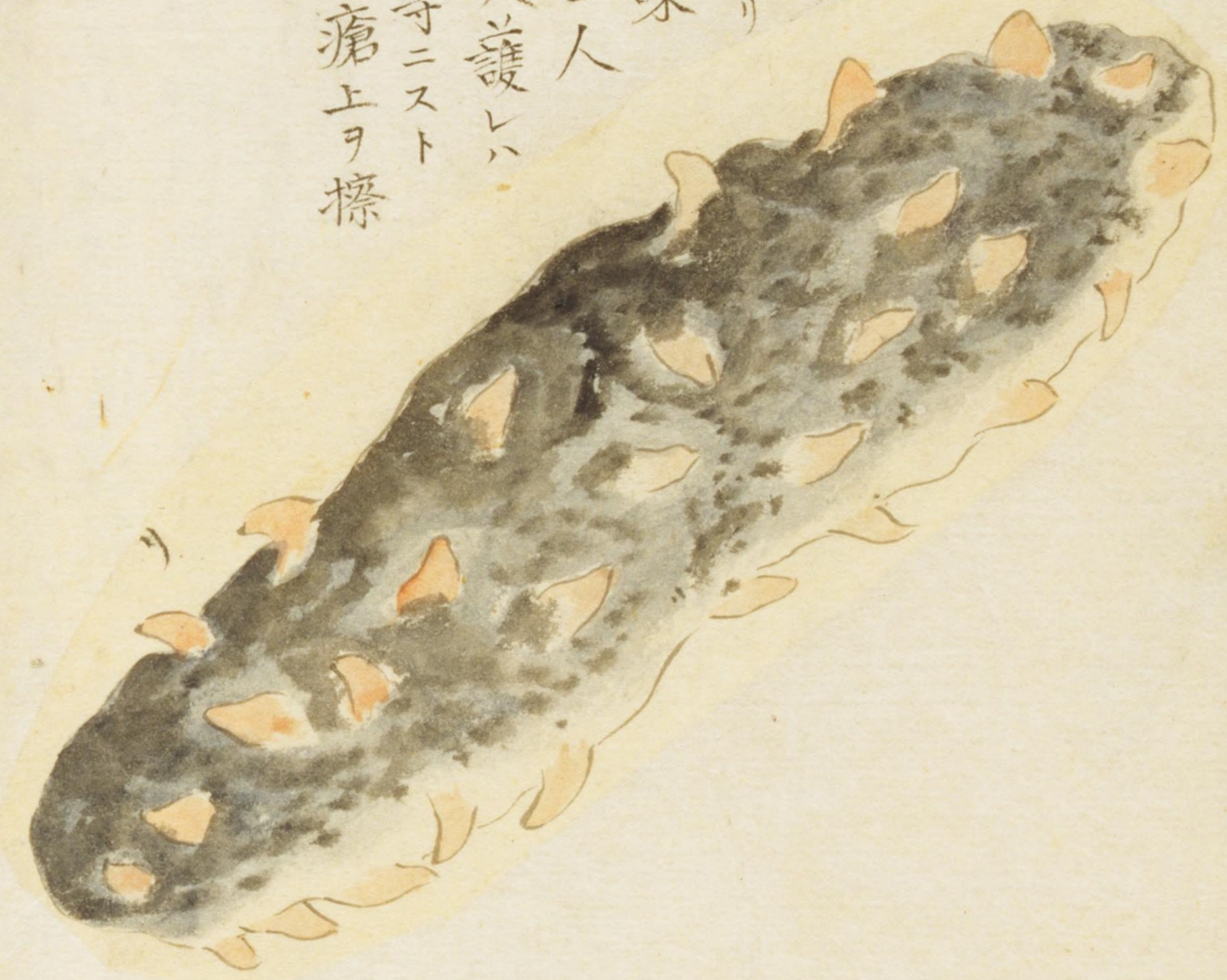
和刻奈未古本草綱目不載之馮時可兩航雜錄ニ載ルル沙啖ナリ  
一名沙蒜其書ニ云沙啖塊然一物如牛馬腸臟頭長五六寸無目無皮骨但  
能蠕動觸之縮小如枇杷栗徐復擁腫土人以沙盆揉去其涎腥雜五果煮之  
脆美為上味云々寧波府志亦載之五雜俎一名海男子藥性纂要之海蛆  
温州府志之塗蜀也又按格致鏡源引蟬史云泥一名沙啖其書云泥無骨蟲也  
在水則活失水則醉如泥然ト諸物異名疏ニモ此事アリ皆此モノヲ指テ謂ナリ  
蛮人非蒲涅兒ノ書ニ福路去カ亜ト云テ此物ヲ布漬ノ諸般痛患ヲナスノ虫又  
腫塊ヲナスト云置テ極テ緩和ヲナスト云 本邦ニモ午豆凍瘡皸裂腫痛ヲナスニ此  
涎液ヲ塗レハ痛和ニ腫消ス此モノ青黒黄赤ノ數色アリ コト單祿  
スル事葱ヲキト單名スルニ今シ熬乾スル者ヲイリコト呼串乾モノヲク  
シコト呼倭名抄海鼠和名古雀商錫食鏡ニ似蝨大者也ト見エタリ然レハコト  
稱スルハ古キ事ニシテ今ニ至ルマテ海鼠ノ黄腸ヲ醬トシテ上好ノ酒媒ニ充  
テ東都へ貢獻アリコレヲコノワタト云七理アリト思エリ







沙噯 ナッコ  
 尋常者色  
 青黒茶褐、  
 斑アリ又赤  
 色ニシテ赭  
 黒ノ斑アルセアリ  
 赤ナッコト云味  
 全シ只食料ニ人  
 不好因テ漁人護レハ  
 串子イリコ等ニスト  
 云此物ニテ凍瘡上ヲ擦  
 ハ瘡ト云







海參

稱刺參者即是  
イリコ



一種小者極堅硬色黑形作  
四稜之所有刺肚內有沙子

金海參

キンコ 奧州金華山海中ニ産肚皮上粟粒ノ如  
瘡痕三條アルノミナニ刺ナレ本中從新所謂光參是ナリ

腹中ニ砂子ナキヲ異トス又一種ノ光參アリ形大皮厚  
硬味下品ナリ肥皂參及瓜皮參ノ名アリ是ハ重

山串子ナリ

後條其益水醃藏者文化乙亥年冬月偶得之  
作圖此仙臺醫員大槻子煥所贈也

其狀壓扁皮爛而損真形予一覽  
為遺憾因想像而作此圖觀者

察識及思過半耳

蝦夷地海中ニフジコト稱ス色

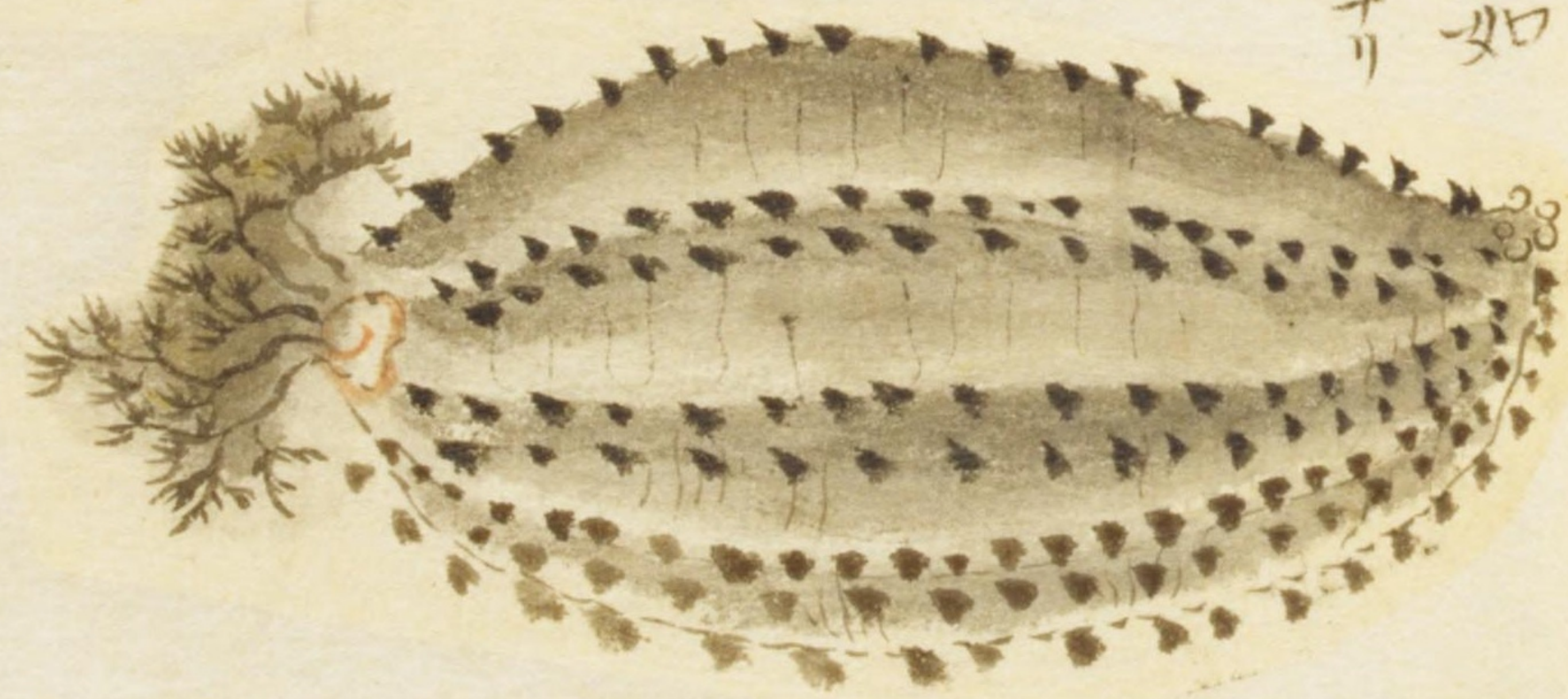
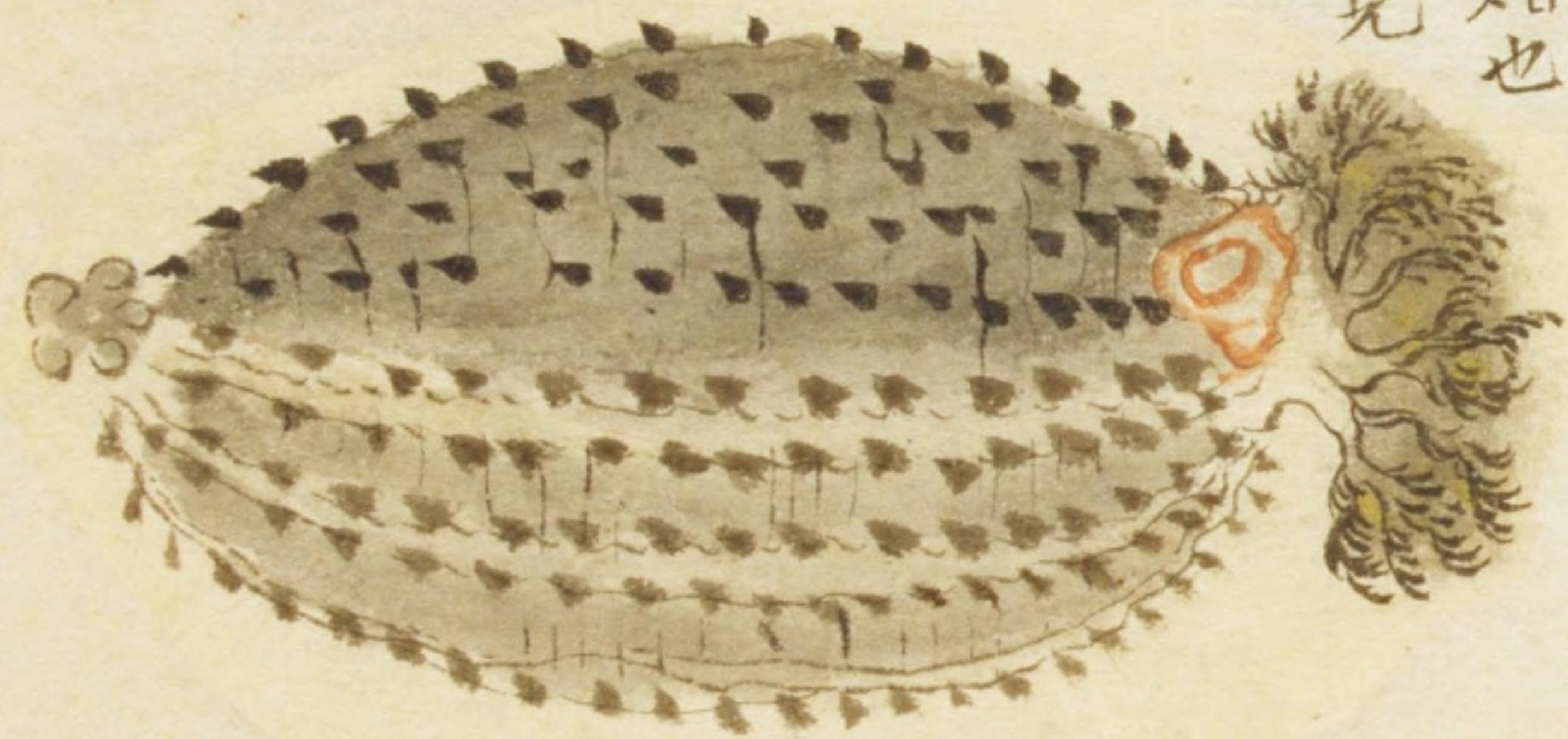
藤花色ヲナス故ニ此稱アリ奧

州金華山ノ産ノ如ク黄腹ノミ

アル者稀ナリ其物ヲ採乾フヲ

士人不知近年採乾ニ其法ヲ得

サレハ形懷テ其用ニ中ラスト聞リ





海參 吾邦殊ニ多シ海外ノ国ニ出ル事少シ因テ華  
貨物ニ換齊去ト云本邦ニモ東北  
海産ノモノ最優レリ就中陵

奥州金華山下東北救百里

間 奥州往古天平室字年中

一里ト 以前ヨリ迄名今テ六町ヲ以テ

ナス 海底一種ノ海産ス里

人見ヲ金哥ト呼一本堂

藥撰ニ金海龍ト称舉スル

セノナリ他州ノ海中ニ復

産スルコトナシ實ニ豆一奇品

ナリ 金華山北鹿郡屬ス陸地

ナリ 此島ノ巖石間皆黄

金色ヲナス此鳴黄金多シ

因テ其精氣海底ニ溢

充ノ此金海參ヲ産スト

云傳フ其形状土瓜ノ如ク長サ四五寸許週六七寸其色黒或淡黒ノ微紅ヲ帶



航虫船

黒斑アルモノコトアリ軟滑ナルコト生海參ニ似タリト其肉刺ナシ又小瘡瘻アリ上密

四畔細蕚ノ如キモノ生下密ハ小疣子突起シテ梅花瓣ニ似タリ腹下ニ粟粒ヲ排列

セルガ如ク首ヨリ尾ニ至ル迄三條アリ一條幅一分餘其一條ノ間七八分ツ隔ツ見テ

岩ニ取附滑走ノ微々ニ身ヲ展縮メ身豆ノ用ヲナスカ如シ此物常ニ水底石間ニ在天

氣快齋養好ノ口口中ヨリ一物ヲ吐出ス其形縮絲ヲ聚メテ造レル剪採花ノ如シ其色

黄青淡黒等數品アリ恰モ鰓粟花ノ開ケルカ如ク浅水ヨリ觀テ愛スルニ堪タリ渾

人是ヲキンコハナククト云物ニ觸レハ忽チ口中ニ縮入テ見エス肉厚サ三四分腸ハ線條

ノ如ク肚内ニ充滿シテ空疎ナシ黄緑ノ二色アリ黄腸ノモノ上品トナス緑腹ノモノ美

ナラズ下品ナリ潮水ヲ吞ノ外他物ヲ食フコトナシコレニヨリテ些サノ砂ニテモ有コトナシ

尋常ノ海産ノ腹中沙子ノモノ有ト迥ニ異ナリサルニヨリテ此物ヲ食ニ此黄腸ヲ連テ

賞味スルコトナリ煮熟法アリ此ニ略ス抑此物ハ本邦陸奥金華山下ノ海中ニノミアリテ他州

アルコトナシ嘗テ聞ク東夷地亦コトナラ産ス夷言カクヲウタト云

ハ仙台大槻子煥筆記セル金海一珠トイユル書ニ載ス

海龍ヲ單称  
ウタト呼ヨシ 詳密ナ

又紫蝦夷海中ニ此モノ尋常海龍中ニ雜リ得ルコト多シ夷語フジコト云夷人乾脂トナシテ食  
フヲ不知メ尽クニ棄タリ識者アツテコレ金海參ナリ乾脂ニ作ラシムルト魚毛其淪キ







乾ノ術ヲ會得セザルニ  
 聞リ見其法ヲ  
 ルヨシ其地ニ復在セシ  
 光参ニ

刺参無  
 色獨白類

海上人復有

此即八重山串子ト

薄劣下品ノモノナリ

海中ノ産ナリ細竹

乾モノ恰モ牛頭皮ノ

刺ナシ白ク透明ナリ藥

海參一種無肉刺色帶

肥皂參味次之ト云セノ即

近口朱佩章偶沈ヲ閱スルニ有無

臂閑者為凡皮參色味共ニ不及刺参出交陸瓊



因テ賜出テ形甚廉醜ニテ用ニ充ラズト

得ハ因益ナルベシ此文化乙亥冬ノナ

森氏ノ活ナリ蘭山字ハ本州後新野載

充是ニ非ス其書ニ云有刺者名

刺者名光参注云函中海參ヲ

撐以竹笈大如掌味亦淡劣

以牛革為作之ノ詔アリ

俗称スルモノメ果甚

肥前五島或薩隅

兩條ヲ以テ串キ

如シ取大ニノ

性質要ニ

白名為

此モノナリ

刺而黑白

州等処斤刺参

可皮参ト云セノ此物ヲサス賤劣可知也其金海鼠ニ至テハ本邦東奥海中ニノミ  
 産スル処漢名穿殼鼈スルニ及ベカラス本邦産  
 スル耐タリ海參者煮法アリ法ヲ失ハ堅  
 果モ亦養ヤラス其法水ニ浸ク一夜白湯  
 ルカクスレバ筋ニテ扱ミ切レル程ニナルヲ  
 味ツクホト煮用ユ又一種ノ法柔煮  
 ルヲ湯ニ浸シ置ク一夜翌朝一升ノ  
 入レ煮ク一時短日ナラバ二時足ニテ

同右海濱砂石上ニ有之有角

觸ル時ハ尾上ノ孔ヨリ紫汁ヲ

薩州ニテ方言ムラサキト云

松前ニ際ルアル物ニ非ス諸州アラ海ノ

紅汁ヲ出スニヨリテエニコウボウト云

所著日東奥譜ノ中ニ西国方言海鹿

相州方言シヤウモダシト云セノ海



物ノ一ニ果

韃不堪食

ニテ一時煮

下汁エ入煮

アリ銅壺ノ又

湯中エ糠握

味ツク煮ナリ

蛞蝓角ノ如シ人

出レ沙石ヲ深ム

モノ此物ト同シ

濱辺岸上アリ其

云ルヨシ神田玄泉

参州方言ウミノウジ

濱ニ産ヌ形蛞蝓似





テ大長五六寸首有耳角恰モ牡鹿ノ頭ニ似タリ觸之出血故此等ノ方言アリ  
 ヘリニ肉裾アリ目ナレ皆黒褐ニ腹灰白ニテ小瘡痕粟粒ヲ撒スルカ如シ  
 腹赤褐色ノ者アリト云即此物ナリ

雨虎 石叻附録

アモフラシ  
 薩州山中ニ雨フ  
 ラシト云雨中ニ出ツ  
 形石決明ニ似テ瘦  
 テ殻ナシト蘭山ノ啓蒙ニ  
 見タリ此モノ恐ラハ山中ニ産  
 ニ非ス海岸ニ産スルウメイコノ  
 類ナラン乎安永六年六月  
 再按ルニウミウサキノ一種海牛ナルヘシ  
 但シ新鮮ノモノハ黄ニアラス日ヲ経タル  
 モノハ腐爛ニ垂タルモウ見テ写タル  
 ナルヘシ



尾州彈正君所藏写真真中ヨリ抄出テ写  
 ス其産処不記ト云凡思フニ尾州ノ産ナリ







そ  
10  
19



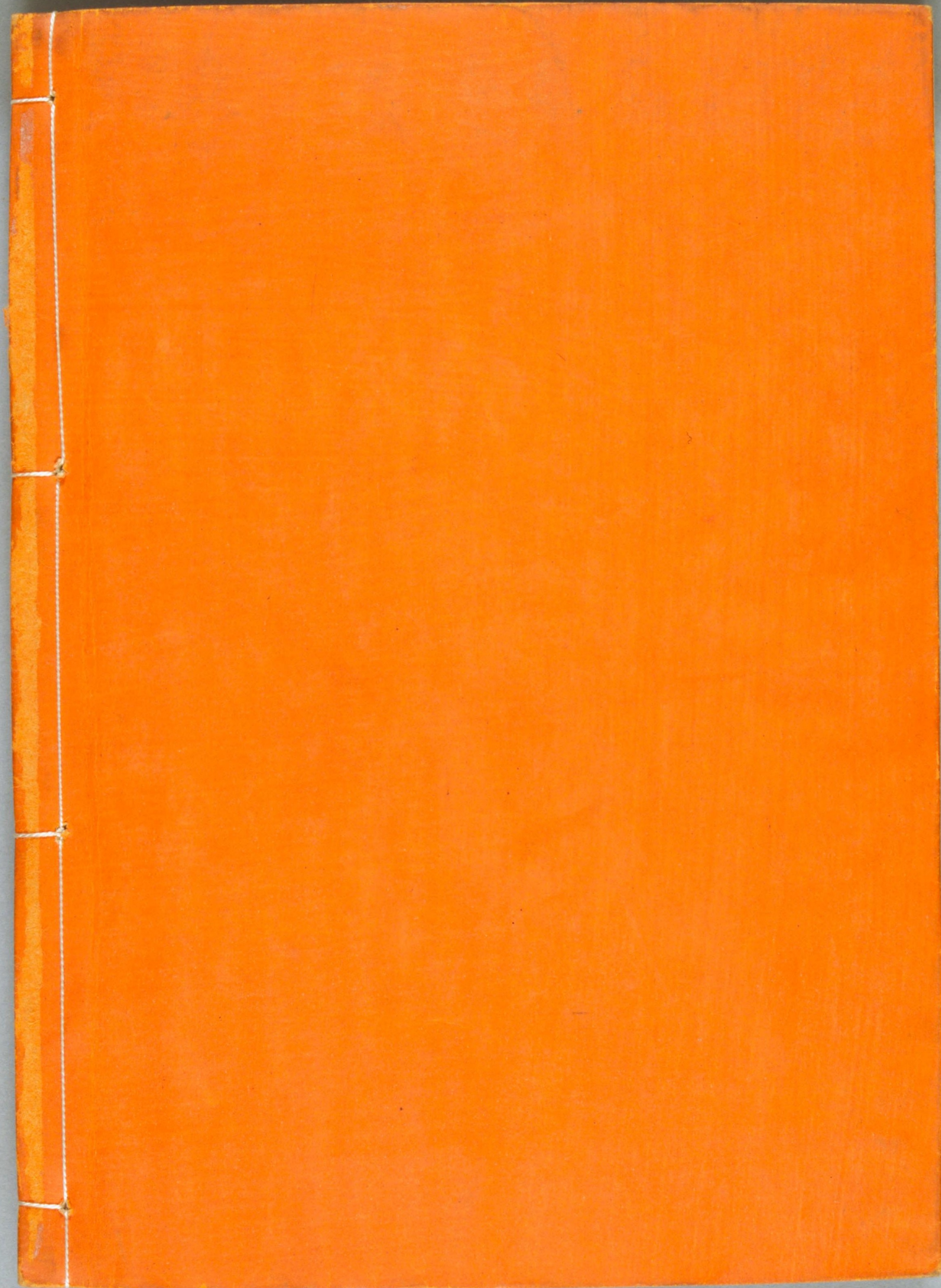
腹

栗氏千虫譜 10冊 寄別6-4-2-1 08-028

国立国会図書館







栗氏千虫譜 10冊 寄別6-4-2-1 08-029

国立国会図書館

